

福知山市商工会 企業業況調査

平成30年7月調査結果(調査対象 76件) (平成30年8月5日公表)

■景況感

	今回調査数	現状		先行3ヶ月		先行1年		
		今回	前回	今回	前回	今回	前回	
全体	76	35.9	36.8	39.8	36.8	35.5	33.4	
地域別	三和	19	39.5	38.1	40.8	40.5	38.2	38.1
	夜久野	29	25.9	31.0	31.0	29.3	28.4	28.4
	大江	28	43.8	40.4	48.2	40.4	41.1	34.6
業種別	製造業	19	50	52.3	50.0	45.5	46.1	44.3
	建設業	19	38.2	35.6	42.1	36.5	34.2	34.6
	卸小売業	13	32.7	21.4	32.7	26.8	30.8	19.6
	サービス業	25	25	33.3	34.0	35.2	31	30.6

景況感DIの算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出
 良い+1.0、やや良い+0.75、どちらともいえない+0.5、やや悪い+0.25、悪い+0.0
 (すべてが「どちらともいえない」と回答した場合、DIは「50.0」)

※旧福知山市の事業所があるため、地域別と業種別の調査数は異なる場合がある。

景況感DIは35.9と標準(50.0)よりも悪い水準となっている。地域別では、夜久野町の落ち込み、大江町の回復が目立つ。業種別では、製造業は標準並みであり、卸小売業においては回復が著しく、建設業も回復傾向にあるのに対し、サービス業の落ち込みが目立っている。

■経営動向

○製造業・建設業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
引合	/		-31.6	-31.3	-23.7	-41.7
売上			-26.3	-37.5	-39.5	-45.8
採算	-2.6	6.3	-31.6	-31.3	-39.5	-33.3
資金繰り	-15.8	-14.6	/		/	
業況	-26.3	-27.1				

経営動向DIの算出方法

「良い」とみる割合(%)から、「悪い」とみる割合(%)を引いてDIを算出
 (「良い」と「悪い」の割合が同じ場合、DIは「0」)

(製造業・建設業)グループと、(卸小売業・サービス業)グループに分類して集計をしている。

○卸小売業・サービス業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
売上	/		-27.0	-26.8	-33.3	-41.5
客数			-38.9	-24.4	-31.4	-43.9
客単価			-16.7	-19.5	-17.1	-34.1
採算	-26.3	-17.1	/		/	
資金繰り	-39.5	-31.7				
業況	-44.7	-39.0	/		/	

★今期の経営動向

採算においては、製造業・建設業が-2.6、卸小売業・サービス業が-26.3と、前回に比べて採算が悪化し、厳しい状況にある。
 資金繰りや業況については、いずれも大幅なマイナスとなっており、特に、卸小売業・サービス業でその傾向が顕著である。

★前年同期比、前期比

製造業・建設業においては、前年度同期比、前期比でともに売上が回復傾向にある。しかし、採算は横ばい及び悪化傾向にあり、利益率の減少しているもの思われ、これが、今期の資金繰りや業況の悪化に結びついていると推定される。

卸小売業・サービス業については、前年同期比では、客単価は回復傾向にあるものの客数が減少し、前期比においては、客単価が減少傾向にあるものの客数が回復している。以前として厳しい状況にあるものと思われる。

■今期直面している経営上の問題点 (業種別上位5項目 業種後の数字は問題点としてあげられた数)

	製造業(43)		建設業(50)		卸小売業(34)		サービス業(57)	
1位	従業員の確保難	14.0%	競争の激化	18.0%	競争の激化	23.5%	需要の停滞	21.1%
2位	設備の不足、老朽化	14.0%	従業員の確保難	18.0%	需要の停滞	14.7%	設備の不足、老朽化	19.3%
3位	消費者ニーズの変化への対応	11.6%	需要の停滞	12.0%	消費者ニーズの変化への対応	11.8%	仕入価格の上昇	17.5%
4位	取引条件の悪化	11.6%	仕入価格の上昇	12.0%	仕入価格の上昇	11.8%	消費者ニーズの変化への対応	8.8%
5位	需要の停滞	9.3%	仕入・人件費以外の経費の増加	10.0%	販売価格の低下ほか	5.9%	従業員の確保難	7.0%

■従業員の状況（従業員（家族従業員を含む）を雇用している事業者のみ回答）

○現時点の人員の過不足感

		不足 ←		→ 過剰		
地域別	全体	10	18	28	5	0
	三和		5	9	1	
	夜久野	4	8	9	3	
	大江	6	5	10	1	
業種別	全体	10	17	28	5	0
	製造業	3	2	8	2	
	建設業	5	7	4		
	卸小売業		2	5	1	
	サービス業	2	6	11	2	

○パート社員の平均時給

		～860	861～900	901～1,000	1,001～
地域別	全体	10	19	5	2
	三和	3	5		1
	夜久野	2	11	4	1
	大江	5	3	1	
業種別	全体	10	19	5	2
	製造業	3	8	2	
	建設業		4	1	
	卸小売業	2	1	0	1
	サービス業	5	6	2	1

○1年前と比較した正社員の増減数

		～-3	-2～	±0	～+2	+3～
地域別	全体		10	39	8	1
	三和	1	4	7	2	1
	夜久野		4	17	4	
	大江	2	2	15	2	
業種別	全体		10	39	8	1
	製造業	3	2	7	3	1
	建設業		5	9	3	
	卸小売業			8		
	サービス業		3	15	2	

○1年前と比較したパート社員の増減数

		～-3	-2～	±0	～+2	+3～
地域別	全体	0	7	40	5	
	三和			9	3	
	夜久野		3	19	2	
	大江		4	12		
業種別	全体	1	7	40	5	
	製造業		2	9	3	
	建設業	1	1	10	1	
	卸小売業			6	1	
	サービス業		4	15		

現時点の人員の過不足感については、過剰とする事業者よりも不足と感じている事業者の方が多く、1年前との比較では、正社員及びパート社員とも若干減少の結果となっているものの、当商工会地域全体では、総じて大きな変化はないとの結果となっている。前ページの『経営上の問題点』として挙げられた卸小売業以外での「従業員の確保難」、及び下記の『労務管理及び人材育成に関して直面している課題』として上位に挙げられた「人員不足」、「採用の困難さ」等の回答結果から、会員事業者において、人員不足への対応ができていないことが推定される。

パート社員の平均時給は、昨年は860円以下の事業所が65%を占めていたが、今期は28%、861円～900円が53%を占め、最低賃金の引上げに伴う対応が進んでいると思われる。今年も10月の最低賃金引上げへの対応を進めておく必要がある。

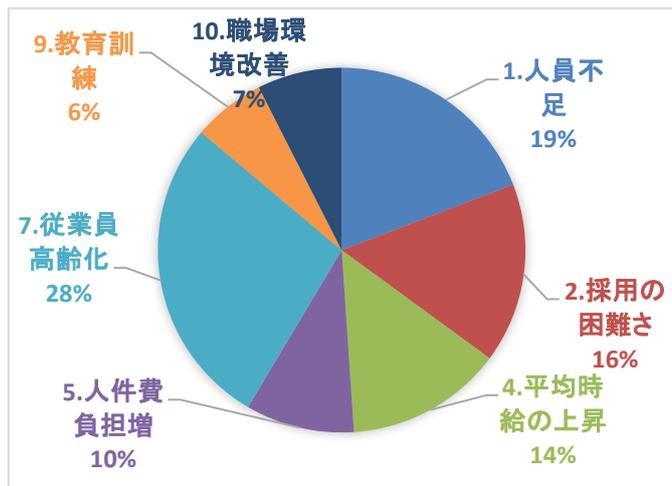
○労務管理及び人材育成に関して直面している課題

（15個の選択肢から3つ以内を選択回答 項目の後の数字は課題としてあげられた数）

労務管理及び人材育成に関して直面している課題としては、「人員不足」、「採用の困難さ」、「平均時給の上昇」が上位を占めた。

福知山市におけるパート労働者を含む有効求人倍率（求人数/求職数）は1.43（前年同期1.34/平成30年5月ハローワーク）と高い水準が続いており、今後も引き続きこの傾向が続くと想定されることから、人員不足が一層深刻化する懸念がある。

さらに、この人員不足に加えて、今秋の最低賃金の引き上げに伴う人件費負担の増加が今後の大きな課題となる可能性がある。



この調査は、福知山市商工会会員事業所を対象として、景気判断や経営動向等を明らかにし、売上向上を目指した事業計画の策定、販路開拓や商品開発、事業承継、経営改善等経営力向上を推進する基礎資料として活用することを目的に実施しています。

次回は平成30年7月～9月の状況について、10月に調査する予定です。商工会の支援員が調査にお伺いしますので、調査対象の事業所様には引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。